



全国ボランティア フェスティバル ひろしまのテーマ決定!

つながる民力 いかしあう民力

- 開催日時
2010年9月25日(土)・26日(日)
- 開催会場
広島国際会議場 ほか
- 主催
 - 第19回
全国ボランティアフェスティバル
ひろしま実行委員会
 - 広島県社会福祉協議会
 - 広島市社会福祉協議会
 - 全国社会福祉協議会
 - 「広がれボランティアの輪」
連絡会議

【ねらいとテーマの理由】

2009年に開催されたえひめ大会は、「しみいる力」をテーマとし、全国から参集された参加者と研鑽ありました。それは、今後のボランティア活動・市民活動が、まさに水が染み入るように広がり展開することにより、多様化する社会的課題を自らの課題として解決することを期待したものでした。

ひろしま大会では、えひめ大会の成果を受け継ぎ、「しみいった力が、つながりあい、さらに活かしあう」ことによって、「新しいチカラ(民力)」まで高められることを目指したいと思います。

活動分野の違いをこえて、「これからの地域課題」に対応していくため、新しいチカラとして、ボランティア活動を「おこす」「つなぐ」「伝える」ことの大切さを共感しあってみませんか?

- 参加者の募集は、6月ころから開始する予定です。なお、参加するためには参加費が必要です。
- 全体会〔テーマトークやリレートーク〕、分科会の企画が現在進行中です。福祉分野だけでなく、まちづくり、環境、国際協力・平和分野のボランティア・市民活動と、幅広い視点から分科会のテーマ設定をおこなっています。学生自身が企画する分科会や広報プロジェクトもたくさんあり、若い力に期待しています!
- 全国から広島に来られるボランティアの皆様を、温かくおもてなしたいと思います。市民の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。
- 今後の進捗情報につきましては、実行委員会ホームページをご覧ください。
<http://www.hiroshima-fukushi.net/v2010>

被災者の支援のため ボランティアが活動しました!!



平成21年は、7月下旬に山口市・防府市（山口県）において土砂災害が発生。8月には佐用町・宍粟市（兵庫県）及び美作市（岡山県）において土砂災害が発生し、多くの方が被害に遭われました。

その被災された人々の生活を支援するため、各地において「災害ボランティアセンター」が設置され、県内を中心とする多くのボランティアの参画により、家屋に流れ込んだ土砂の撤去や清掃作業などを中心とした被災者生活の支援活動が行われました。

本会では、「中国ブロック県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定」に基づいて、防府市・佐波川流域災害ボランティアセンターに職員3名を順次派遣し、現地スタッフとともに支援活動を行いました。

広島市では広島市災害ボランティア活動 連絡調整会議を設置しています。

広島市においては、広島市、広島市社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、日本赤十字社広島県支部をはじめとする関係機関・団体により、「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」を設置しており、災害時にボランティアが円滑に活動できる体制を構築することを目指し、平時から研修・訓練等を開催しております。

災害発生時にはこの調整会議を核として、市災害ボランティア本部を開設し、被災地の各区に開設する区災害ボランティアセンターと連携して被災者の支援活動を行います。



平成21年度の取り組みについて

①災害ボランティアセミナー（平成21年7月10日開催）

災害ボランティア活動連絡調整会議の構成団体員を対象にして開催しました。

②災害ボランティアコーディネーターの養成

ボランティアコーディネーター養成講座において、災害ボランティアコーディネーターの養成を目的とした講座を開催しました。（平成22年1月23日）

③区災害ボランティアセンター設置運営マニュアルを見直し中。

被災地には区災害ボランティアセンターが立ち上がり、被災者により身近な区において被災者支援活動を展開します。区災害ボランティアセンターを立ち上げる際の基本的な手順等を確認するためのマニュアルを現在作成中です。



広島市域 「朗読・音声訳 ボランティア グループ交流会」を 開催しました



現在、広島市域には16の朗読・音声訳ボランティアグループが活動しています。今回は、朗読・音声訳ボランティアの方52名・社協職員11名総勢63人の参加となりました。8グループに分かれて、いかにリスナーを増やすか？リスナーとどうつながっていくのか？活動を進める上で工夫している点は何か？などテーマをもって情報交換を行いました。

交流会を終えて

リスナーとのつながりについては、あるグループで、「2ヶ月に1回“気晴らしサロン”を開催し、リスナーからの要望が聞ける大切な機会となっている」という報告があり、それぞれのグループでも交流会をもつなど工夫されていました。

デージー化（デジタル録音）については、「リスナーから希望があればテープの録音をやめることはできない」「リスナーにデージーの取扱方法やデジタル化の必要性など、社協より伝えてほしい」という要望もいただきました。

この交流会は、これからも、続けて開催していきたいと考えています。

若者と一緒に企画しませんか？

ヤングボランティア交流研修会（2月7日開催）で、「子どもたちが遊べるようなプレイパークをつくろう」というテーマに対し、高校生たちは、次のような企画を練りました。なかなかのアイデアです。地域で何かイベントをしようという際、企画の段階から若者が参加すると、やわらかい発想が期待できるかもしれませんね。

- 例1 宝（ごみ）探しをして、あつめた宝でオブジェをつくる。
- 例2 ペットボトルを集めて楽器にしたり、ボウリングをしたり…
ペットボトルフェスティバルを開催する。
- 例3 自宅から持ち寄ったものを葉っぱのお金に換金し、欲しいものを買いたいという【お店やさんごっこ】
（お店は高齢者の人に開いてもらいます）



ボランティアさんの声

「美容師を続けてきてよかった！」

「高齢者の方や障害のある方も、おしゃれをして街に出かけましょう。」そんなお手伝いをしたいと、美容師さんたちがファッションショーを開きました。開催後の茶話会で、モデルの皆さんが

感謝・感動の気持ちを口々に述べられただけでなく、若い美容師さんたちが、「こんなに喜んでもらえるなんて…美容師を続けてきてよかった！」と涙ながらに語られた姿に、みんなもらい泣き。そんな盛り上がりで、「ファッションセラピーの会ヒロシマ」は仲間の和・輪を広げ、今後も、ファッションショーやおしゃれに関するふれあい教室を開催していくことになりました。

新着図書紹介 (2010.2現在)

1	平成21年版 厚生労働白書 ー暮らしと社会の安定に向けた自立支援ー	厚生労働省
2	学校から見える子どもの貧困	藤本典裕・全国学校事務職員制度研究会
3	子どもの貧困白書	子どもの貧困白書編集委員会
4	岩盤を穿つ ～「活動家」湯浅 誠の仕事～	湯浅 誠
5	東京認知症高齢者グループホーム白書	(社福)東京都社会福祉協議会
6	いきいき人生 ～エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例集～	内閣府政策統括官
7	現代の社会福祉 100の論点 ー『月間福祉』100年記念増刊号ー	(社福)全国社会福祉協議会

新着DVD

449	その他	ヒロシマナガサキ(DVD版)	119分	H19	14人の被爆者と4人の原爆投下に関与したアメリカ人の証言を軸に完成させたヒロシマ・ナガサキの真実
450	その他	悪質業者の視点 ～次の狙いはあなたかも～	23分	H21	多様化する悪質業者の手口を再現ドラマに。“だます側”の視点を盛り込んだ3つのストーリーを紹介●ストーリー①催眠(SF)商法●ストーリー②利殖商法●ストーリー③振り込め詐欺
451	高 齢	高齢者地域見守り ネットワークの構築に向けて	49分	H21	高齢者の見守り活動に取り組む地域の活動事例や活動のノウハウ、ポイントをまとめたもの
452	福 教	「ホームレス」と出会う 子どもたち	75分	H21	【本編30分】なぜ若者による「ホームレス」襲撃がおきるのか?「子ども夜まわり」の活動を軸に参加する子どもたちの変化、ホームレス生活者の仕事や生活、その思いに迫る。さらに「ホームレス」襲撃問題をとおして、居場所(ホーム)のない子どもたちの弱者いじめの問題を問い直す。【応用編45分】1.元野宿生活者の川口猛さんの人生 2.子ども夜まわり
455	ボ ラ	あなたもボランティア	8分	H21	重症心身障害者施設でボランティア活動する団体やグループの活動を収録したものの「最も弱いものを守り、支える」DVD
456	ボ ラ	街里セミナー in ひろしま	116分	H21	十代のボランティア活動(TIC)促進広域連携事業(平成21年7月31日-8月3日)DVD
457	その他	裁判員制度 ーもしもあなたが選ばれたらー	58分	H21	戦前の一時期、我が国でも「陪審制度」が行われていた。60年以上の時を経て我が国で本格的な司法への国民参加を実現することになる「裁判員制度」。その概略をたどりながら、そこに参加するごく普通の人々を描く。

今後のボランティア募集予定



5月3日～5日

車いす貸出・介助ボランティア
フラワーフェスティバル開催中に「ふれあい広場」や「イクちゃんルーム」
会場でのお手伝い。

8月6日

平和記念式典会場での
車いす介助ボランティア
7月に事前学習会を開催します。

このほか、ボランティア講座なども市社協ホームページで、随時お知らせをしますので、ご覧ください。区社協のページも出来ていますので、こちらもご覧ください。

広島市民賞受賞

広島市では、平成14年(2002年)から、市民に夢と希望とやすらぎを与え、元気な広島、住みよい広島をつくるために寄与された人に対し広島市民賞を授与しています。

このたび、広島市ボランティア情報センター利用者連絡会の登録団体である、「すみれ会」と「広島市要約筆記サークルおりづる」が広島市民賞を受賞されました。